

の陳情を受け、元秘書が2013年6月にUR職員と面会。URが約2億2千万円の補償費を薩摩興業に支払う契約が8月に成立した。一色氏は同月、元公

治家や秘書の口利きを制限するためにできたものの、構成要件が厳しいため立件例は少ない。今回の捜査でも改めて適用の難しさが浮き彫りになった。

める声が上がっており、与党参入札で特定の業者を参加させようとした市議員が担当課長に「議会で質問するぞ」と話

方が支配的だった。ただ、政治とカネを巡る問題が相次いでいるため、法改正を求める声が強まる可能性もある。

インターネットのサイト運営し、女性を警が詐欺の疑いでサイに運営に関わった男ら数人を逮捕したことが31日、捜査関係者への取材で分かった。

認知症薬の少量投与容認

厚生省 症例に応じ審査を

高齢者医療に取り組む医師らが認知症薬の少量処方方を認めるよう求めている問題で、厚生労働省は31日まで

記載された投与理由を参考に、医学的に判断することとした。厚生労働省は6月1日付で各都道府県の国民健康保険団体連合会(国保連)の中央会と、社会保険診療報酬支払基金宛てに、規定量未満の投与も症例に応じて薬剤費を支払うよう求める事務連絡を出す。

医師の話 厚生労働省が抗認知症薬の少量処方を実現する会」の代表を務める長尾和宏

高知の農協に排除命令 ナス出荷で農家に圧力

高知県安芸市の「土佐あき農業協同組合」が特産品のナスを巡り、組合員の農家に対して農協以外の業者に出荷しないように不当な圧力をかけていたとして、公正取引委員会は31日までに、独禁法

違反(不正な取引方法)の疑いで排除措置を命ずる方針を固めた。処分案を通知した。関係者によると、農協へのナスの出荷量が一定を下回った農家には違約金の支払いを科すなどして、農協以外の業者と取引しないよう迫っていた疑いがある。

高知の農協に排除命令 ナス出荷で農家に圧力

大阪府河内長野市のダム湖にワゴン車が転落し、大阪市内の建設会社に勤務する男性5人が死亡、1人が重体となった事故で、現場

転落避け

田野岡大和君が置き近で、捜索を再開した午前6時30分北海道

